

2014年度放送番組審議会議事録(抄録)

■ 日 時：2014年6月21日(土) 10:00～13:00

■ 場 所：JCN関東 本社3階 会議室

■ 出席者：放送番組審議委員(敬称略)

小松政毅、能瀬さち子、宮崎晃一、尾堤宏、三輪祐子、丸岡淳
笹野晋、鈴木一行、川西潤一

株式会社JCN関東

代表取締役社長 加藤治伸、前代表取締役社長 日野廣生、取締役 山野英一
草加局長 平澤剛成、越谷局長 村井義明、春日部局長 古田信博、
埼玉県央局長 石渡一樹、川越局 営業部長 伊藤努夢

事務局

企画・制作部 6名

欠席 放送番組審議委員(敬称略)

木下陽介、横田等

■ 議事項目

1. 審議会概要

- (1) 審議委員紹介
- (2) JCN 関東 社長あいさつ
- (3) 加入状況などの近況報告について
- (4) 番組審議委員長選出
- (5) コミュニティチャンネルの今期の編成及び自主制作番組について
- (6) コミュニティチャンネル番組紹介<映像視聴>

2. 審議事項

JCN 関東の自主制作番組及びサービスなどに関する意見・感想等(抜粋)

【コミュニティチャンネル】

- ・番組により月1個所の場所紹介では、視聴者は飽きてしまう。
- ・更新回数を増加することにより視聴も広がるのではないか。
- ・街の小さい情報など提供してもらうように、各地域に一般のモニター(特派員)を置いてはどうか。
- ・ある番組でのアナウンサーや出演者への要望だが、番組の内容に応じた言葉使いや品性というものを意識してほしい。
- ・テンション高く番組を盛り上げる事は理解するが、その番組にはそぐわないものだった。
- ・ウィークリーニュースは内容が割愛されていて残念。全部放送してほしい。
- ・民放では放送しない素材でありがたい。ローカル情報を拾える唯一の局だと思う。
- ・イベント等で取材を受けることが多く、その後1週間くらいは反響があるため、地域密着を感じている。

【広報・プロモーション活動】

- ・ ツイッターや Facebook など SNS をもっと活用し、情報収集等に於いて、視聴者が来やすい環境作りを行うことにより、PRにも繋がるのではないか。
- ・ 情報を「知ろう」という事がテーマだと思っている。そこがクリアできれば情報の価値が上がると考える。
- ・ イベントで撮影されることもあるが、放送日がわからないことが多い。
主催者には放送日のチラシが配られているようだが、その後末端までは届かないため、どうにか分かるように PR の充実を図ってほしい。
- ・ 地域の交通関係等と連携しプロモーションを行うことも検討してみてはどうか。

【その他】

- ・ オンデマンドがあれば尚良い。番組を録画してまで見るかという疑問がある。
- ・ 実はケーブルテレビの引き込みがあったという事例がある。集合住宅などケーブル対応物件とわかるようもっと工夫が必要ではないか。

【審議まとめ】

- ・ 今回の審議会は「一緒になって参加していく」という発言が多かった。自主制作はそういう位置づけ（一緒に作る）だと思う。
- ・ 今は自分たちから情報を発信できる時代であり、地域活性化のために、映る方（取材される側）のスタイルも変わってきている。
- ・ スタッフをはじめ、審議委員もみんな同じ方向を向いて対応していきたい。

【まとめ】

本日いただいた貴重なご意見、重要なポイントを吸収し、より良い番組を目指し、視聴者に見てもらえる番組を意識しながら制作に励んでいく。

以 上